

# 旅の贈りもの 明日へ ロケ地巡り あわら・坂井市



仁科孝祐(前川清)と香川結花(山田優)が秋山美月(酒井和歌子)の消息を訪ねるために訪れた。

## えちぜん鉄道あわら湯のまち駅

仁科孝祐(前川清)と香川結花(山田優)が同じ列車に乗り、あわら温泉に降り立った駅。芦原温泉街の玄関口。



## やまに水産

「がさ海老」を食べられる店を探す香川結花(山田優)に、「一緒に食べに行こう」と秋山美月(酒井和歌子)が誘った、朝市風の水産物屋。商店街の先には名勝「東尋坊」があり、日本海にそそり立つ豪快な岩壁と四季折々の素晴らしい景色を眺めることができる。

## 三国突堤

久我晃(須磨和声)がたがずんで海を眺めていた場所。ビーチ奥に延びている三国突堤は、明治期の日本三大築港の1つと言われている。



## うおしろう 魚志楼



秋山美月(酒井和歌子)と香川結花(山田優)が「がさ海老丼」を食べた店として登場。「魚志楼」は、北前船交易で隆盛を極めた三国湊町の、かつて出村と呼ばれた花町の一角に位置する。店内には芸妓と一緒に写る若旦那の写真などが飾られ、大正期に建てられた店舗は、国指定有形文化財に登録されている。実際に「がさ海老」をはじめ、三国港で獲れた新鮮な魚介類を味わうことができる(ランチメニューあり)。最寄駅は三国駅。



がさ海老は見た目の悪さで敬遠されていたが、濃厚な味わいと甘さが口コミで広まり、今や三国を代表する素材に。漁獲量も少ない上、鮮度が落ちるのが極端に早く、生で食べられるのも漁港のある三国ならでは。



## えちぜん鉄道三国港駅

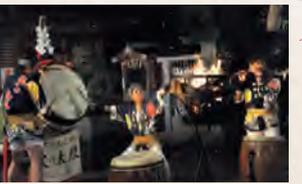
仁科孝祐(前川清)と香川結花(山田優)が、お互いに誰と知らず、初めて出会う駅。えちぜん鉄道三国芦原線の風情ある終着駅で、駅舎横には坂井地区の鉄道の歴史を紹介する資料館がある。



100年近い歴史を有している三国港駅は、2010年に改修された。

## みくにじんしゃ 三國神社

境内で行われていた祭りの夜、仁科孝祐(前川清)と秋山美月(酒井和歌子)が、お互いに誰と知らず再会した場所。シーンで登場する太鼓は、大晦日の夜に、三國神社に奉納されている「火の太鼓」。(坂井市無形文化財)



火の太鼓は約300年の歴史があり、過去にも映画で取り上げられたことがある。



## まるおかじょう 丸岡城

高校生の頃の孝祐と美月が、初めて出会った場所。桜が満開のときに、城入口の階段下や天守閣石垣の西側などで撮影が行われた。高校生の頃の美月は、この城の近くに住んでいる設定。



丸岡城は戦国期に建築された、現存する日本最古の天守閣を有する国指定重要文化財の城。映画でも様々なシーンで登場するが、定年後の仁科孝祐(前川清)が福井を再訪するきっかけとなった絵手紙のモチーフとして描かれている。

## 丸岡駅

## 丸岡城

## まるおかえき JR丸岡駅

仁科孝祐(前川清)が秋山美月(酒井和歌子)の家を訪ねるために降り立った駅。かつては、京福電鉄丸岡線が乗り入れており、1番ホームの反対側には線路跡、駅の南方には国鉄線路をまわっていた橋脚などが残っている。



## ほうせん グラデシア芳泉

秋山美月(酒井和歌子)の行方を捜す仁科孝祐(前川清)と福井を旅する香川結花(山田優)があわら温泉で宿泊する施設。福井県のおいしいお米や甘藷などの山の幸と日本海の新鮮な海の幸をふんだんに使用した美味しい料理と、自家源泉の肌あたりのやわらかいお湯を楽しめる旅館。

